

ほっと すぺ～す

No.137
2022・3



全国手をつなぐ事業所協議会ニュース

今号では

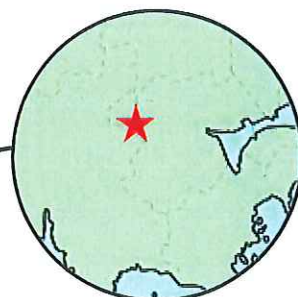
◆令和3年度 全国手をつなぐ事業所協議会 全国研修大会・岩手県大会
（2月12日）を開催しました



【早島町地域活動支援センターの皆さん】

全国の事業所から

（特非）城山うさぎ
早島町地域活動支援センター
《岡山県 都窪郡 早島町》



全国の事業所から

早島町地域活動支援センター 〔特定非営利法人 城山うさぎ〕 （岡山県 都窪郡 早島町）

早島町地域活動支援センターは、かつて“い草”や畳表の産地として全国に名をはせた岡山県早島町（人口約12,700人）で活動しています。県内で最も小さく最も人口密度の高い町です。

2000年（平成12年）4月、親の会である「早島つばさの会」が地域福祉作業所を立ち上げ、会員の家族で運営をスタートしました。2006年（平成18年）の障害者自立支援法の施行により、NPO法人「城山うさぎ」の運営に変わり、2010年（平成22年）に早島町が新たに設置した地域活動支援センター「柎檀（せんだん）の家」の一角に移転しました。2022年（令和4年）1月現在では、利用者は20名で19歳から61歳まで幅広い年齢の方が通所されています。また、就労に移行された方が自分の休日になるとお給料からお菓子を買って来て、「みんな一緒に食べようや」と余暇の場所として利用されることもあります。



【早島町地域活動支援センター外観】

日中活動の内容としては、朝の会終了後、健康観察、ケアビクスを行い、その後、さをり織りや株式会社サンゲツさんの内装材の見本帳のリサイクル作業、創作活動などを行っています。日々の出来事の中で今日もここに来て良かったと利用者がつぶやく「楽しゅうてたまらん！」を合言葉に創作活動にも力を入れています。コツコツと一年間に作り貯めた作品は大作となり、毎年12月の障害者週間に合わせて「ゆかいな仲間たちの作品展」で披露し、コロナ禍以前は延べ400人を超える来館者がありました。展示会では利用者が当番で受付や、さをり織り製品の販売体験をするなどして、地域との交流を行ってきました。2020年（令和2年）からは、早島町のホームページに展示会の様子が掲載され、利用者がレポーターとなって作品を案内している動画は現在もご覧いただけます。その他には、毎月、音楽療

法士による音楽の時間、隔月の調理実習のほか、年間行事として節分豆まき
に続き鬼退治ゲーム、春のスポーツ大会、七夕飾り、秋のバス旅行、クリス
マス会等、季節に合わせた行事を行っています。また防災訓練では避難場所
となっている町の施設へ避難経路の確認をしながら移動し避難の大切さを
学んでいます。健康面では、町内の歯科衛生士により口腔衛生のお話を聞く
ほか、ヨガ教室の講師の指導の下、呼吸法や体操を学んでいます。



【事業所前の庭で、さをり織り】



【「ゆかいな仲間たちの作品展」で】

地域に根差した活動をする中で、2008年（平成20年）には和太鼓チ
ームの結成をしました。早島イ草太鼓の皆さんのご指導を受け「早島ゆめ太
鼓」と命名して、町内のイベントや福祉フォーラムなどで演奏をさせてい
ただいています。2016年（平成28年）に開催された手をつなぐ育成会岡
山県大会の本人大会のオープニングでも演奏をしました。事業所ではお昼
休みに、和太鼓の好きな人が集まってオリジナル曲の練習を続けています。
お互いの顔が見える小さな町のおかげもあり、あちこちで温かいお声掛け
やご協力をいただいています。



【手をつなぐ育成会岡山県大会本人大会での演奏の様子】

住み慣れたこの町でいつまでも暮らし続けたい本人たちの思いがある一
方で、親亡き後の問題や利用者の高齢化も切実になってきており、家族から
の悩みなどの相談数も年々増えています。それらに一つひとつ丁寧に向き
合いながらどんな時も本人の「好き」を真ん中に主訴を代弁できる努力は惜
しみなく続けていきたいと思えます。

（早島町地域活動支援センター サービス管理責任者 磯山 恭子）